第11回市長とジェンダーミーティング

2025
10

女性から選ばれる職場プロジェクトコラボ号

寒さが一段と厳しさを増し、市内に初雪の便りが届いた翌10月29日、文化会館を会場に第11回市長とジェンダーミーティングを開催しました。
今回は「女性から選ばれる苫小牧に向け、何ができるか」をテーマに、苫小牧市役所内に設置された「女性から選ばれる職場プロジェクト」ワーキンググループメンバーとともに意見交換を行いました。

01 課題提起

苫小牧市における若年女性の転出超過の状況などから、何らかの対策が必要であること、また、固定的な性別役割分担意識により、女性には多くの役割がのしかかっていて、仕事に対する意欲の低下を引き起こす社会構造となっていることの課題提起が事務局からありました。

「活躍したい女性は少ない」は社会構造の問題！
女性個人の資質の問題ではない！

02 紹介されたデータ

・市内女性の17歳から23歳になるまでの人口を追うと、
　16.8%減少している（平成11年生まれ～同13年生まれ）
・地元を離れ都心で暮らす女性は、地元で様々な女性の役割
（※）を感じていた（令和7年版男女共同参画白書）
（※）家事、育児、介護、親戚の集まりでの食事等の世話
　職場でのサポート業務、出産後は仕事を控えめに等々

03 グループディスカッション

参加者36人が5グループに分かれ、「誰もが働きやすい職場であるために必要なこと」をテーマに、それぞれが所属する企業、団体等の現状や取り組みなどについて、意見交換が行われました。
グループディスカッション後の各グループの発表者は・・・スマホの電池残量がグループ内で2番目に少ない人！発表された皆さんお疲れさまでした(^^)/

市では男女平等参画についてInstagramで配信しています

TMKYODOSANKAKU

04 各グループからの発表

・制度が「ある」で終わることなく「利用する」を広めたい
・女性の少ない現場などでは女性が孤立しがち…企業間の女性同士の悩みの共有の場をつくる
・管理職用の相談窓口が欲しい
・制度を利用しやすくする…例：育休所得者がいる部署に一時金支給
・ニーズに応じた多様な働き方の制度づくり
・女性が働きやすいハード面の整備を進める

05 市長総括

それぞれのグループの発表から、素晴らしい取り組みを聞くことができました。
皆さんの発表を聞いて、女性が活躍するための制度を整備しても、それ以上に制度を活用できる雰囲気づくりも大切であり、やはり「コミュニケーション」が重要と感じました。
性別にかかわらず、上司・同僚・部下がお互いに状況を理解し、目くばりすることが基本です。日頃からのコミュニケーションにより、相手の考えや置かれた状況を把握し、理解を深めることが求められます。既存制度で対応できない場合は、一時支給金のような新たな制度検討も視野に入れ、女性から選ばれる職場作りと男女平等参画の推進に取り組みましょう。

06 みんなの宣言（一部抜粋）

・わたしは、職場でのコミュニケーションを意識し、円滑な制度活用ができるよう取り組みます。
・私は、職場全員とコミュニケーションをとることに取り組みます
・育児や介護などで休業した社員のサポートをした社員への手当や評価など、不公平感の是正に繋がる制度の構築に取り組みます。
・性別年齢関係なくいきいきと働くことができる職場づくりに取り組みます
・難しいことも、相手と向き合ってコミュニケーションをとり、解決していけるよう実行したいと思います。
・わたしは、より一層のコミュニケーションの充実を図り、風通しの良い働きやすい職場づくりに取り組みます
・わたしは育児、介護に利用できる休暇制度の拡充に取り組みます。
・子供がいない人でも、不平等でない、みんな平等な組織にしたい。

今後も引き続きメンバーの皆さまには、職場やご家族、友人等への知識の拡散及び新規メンバーの推薦などよろしくお願いします！